

山頂を楽しむ

# 茶臼草原周辺

登山者の多くが山頂から、この茶臼草原まで足を延ばしてくる。「展望」は素晴らしく、大牟田、荒尾、長洲の街並み、有明海、小岱山、普賢岳、空気が澄んでいれば阿蘇の噴煙、天草の山々まで見渡せる。

お正月には、初日の出を見る人々が集まる

四季をとおして花が咲きあふれる「花園」、弁当開きや休憩する人が多い「憩いの場所」

三池山は四つの山が連山となっています

一の山今山岳  
三池宮  
366m

二の山

山頂  
三の山三池山  
388m

四の山  
茶臼塚山

鳴川山  
359m



二の山



山頂(三の山)



茶臼塚山(四の山)



鳴川山

見渡す展望が素晴らしい  
たくさんの花が咲く花園

ススキ

茶臼塚山よりさらに進む「鳴川山」は、三池山一番の展望スポット  
裏山の森は、自然林が残り不思議と心安らぐパワースポット！  
ぜひ、訪れてみてください。



三池山は神話の「天孫降臨」の高千穂の峰だった！  
詳しくは P8

石地蔵

コスモス園

歴史の里

普光寺周辺

中世三池氏の菩提寺。  
 建立は1199年と  
 言われ諸説あり不明。  
 「あじさい寺」と呼ばれ境内  
 いっぱいのあじさいは  
 見事です。



熊耳山 定林寺



金剛山 紹運寺



宇今山 普光寺

大牟田市で最も古い天台宗総本山比叡山  
 延暦寺の直末寺です。弘仁14(823)年開基、  
 開山は最澄の高弟慈覚大師円仁と  
 言われています。本堂は江戸時代の建立。  
 中世の密教仏教に見られる構成で希少で  
 重要な建物です。



臥龍梅

龍が臥せているような樹形から  
 臥龍梅と呼ばれ、樹齢400~800年、  
 18株からなる八重咲の紅梅です



歴代三池藩当主墓地

鳥居めぐり

上宮に着くまでに  
 いくつもの鳥居を  
 めぐります

一の鳥居

八大龍王宮の鳥居



三の鳥居



二の鳥居



三池宮の鳥居



長田宮の鳥居



伝説が残る

# 三池宮周辺

一の山 今山岳

珍しい  
子供を抱く  
狛犬



## 三池宮ご神体



神々の生みの親  
伊邪那岐神と伊邪那美神が  
祀られている

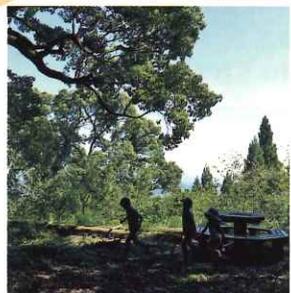


ヤマツバキの群落  
(三池宮東側の登山道)  
ツバキの花が  
じきしめられた道



三池宮(上宮)

三池宮は、**霊泉 三つの池**の出現によりかんはつに靈験あるという五穀豊穡の神として祀られています。



三池宮東側  
展望所・休憩所

三池宮には昔、  
山城があった!?  
詳しくはP8



長田宮(中宮)

江戸時代までは普光寺の三院、七子坊の一つでした。  
**風雨の神様**と崇め豊作を祈ります。



八大龍王宮(下宮)

水、風を司り、  
雨乞いや五穀豊穡を  
祈願します。



## 「山」文字 ミステリー



登山道の岩に「山」の文字が刻まれています。以前修験道の修行にいわれがあるみたいです。以前は四つでしたが、次々に発見され現在七つが確認されています。

## 霊泉 三つの池



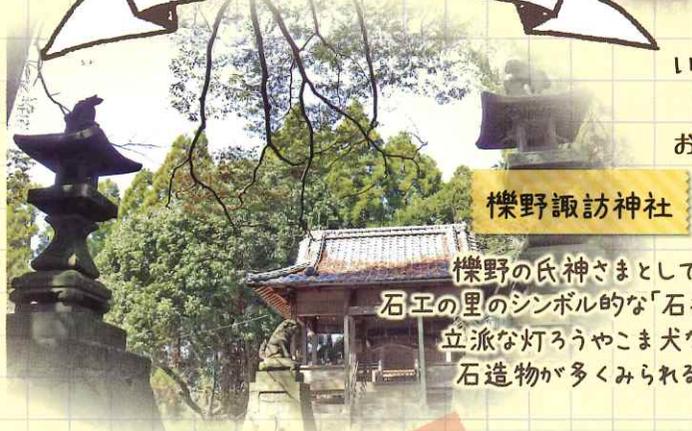
三つの池

## 大蛇とつがいに伝説

「その昔、お姫様が**大蛇**に飲み込まれそうになった時、**蟹**がでてきて、大蛇を三つに切り、お姫様を助けたということです。この時三つに切られた大蛇が苦しみ暴れた跡がくぼみ三つの池になった」という伝説が伝わっています。この三つの池の一つは有明海とつながっているといわれ、この水は枯れることなく、かんはつや虫害に靈験あらたかと信じられ、信仰を仰ぐ理由になっています。

水が湧き出る  
石工の里

# 櫟野周辺



櫟野諏訪神社

櫟野の氏神さまとして、  
石工の里のシンボリックな「石神さん」、  
立派な灯ろうやこま犬など  
石造物が多くみられる。

既に鎌倉時代から人々の  
往来があり、島原藩の  
参勤交代や坂本龍馬なども  
行き来した記録もあり、  
肥後藩の岩本番所から  
渡瀬の干渡橋までを言います。  
この道を歩き、当時の往来を  
想像してみてください。



三池街道(往還)



石切場  
櫟野石と櫟野石工

約9万年前の阿蘇山の大噴火  
による火砕流が冷えて固まった阿蘇溶結凝灰岩を  
「櫟野石」と呼ばれ、加工しやすく風化しにくい良質の  
岩として重宝された。幕末から昭和にかけて活躍した  
櫟野石工は、南筑後、熊本県北部の多くの  
神社などの鳥居、石橋、水路、石垣などを残している。  
櫟野地区では石切場跡が20カ所ほど見られる。



土穴の工ノキ  
(福岡県指定天然記念物)

エノキの根元に  
祀られる  
えびす様

ニレ科の落葉高木で秋に  
実を付ける。樹齢500年に近い。  
木の横のえびす様(嘉永7年)が  
見守っています。

## 鳴川水源の森

三池山は、多くの湧水場があり、  
その源流から生まれる「鳴川」が  
流れ、夏にはホタルが乱舞します。  
湧水が涸る鳴川の上流には、地元の方々整備した  
桜並木やモミジの森、せせらぎにはカラーの花が  
咲き乱れています。子どもたちの体験活動の森  
として親しまれています。

## ため池めぐり



ため池がいっぱい  
オタマジャクシや  
トンボ、草花など  
自然がいっぱい



蓮華寺

蓮華寺の本尊「阿弥陀如来」、  
由来、堂宇は天台宗にて  
開祖創設は不詳である。  
元禄7(1694)年本尊寺に  
帰依して「恵空」改名、本尊  
並びに寺号を受けて今日に至る。



巨福山 金泉寺

本尊「十一面観世音菩薩」、  
1748年(寛延元年)長崎  
皓台寺十一世「古岳峻  
大和尚禪師」開山。天台宗  
より曹洞宗となる。



中村代官屋敷跡

領地として教楽来、櫟野、勝立、  
萩尾、白井、駿馬を納め石高  
約1万石を取り立てていた。  
現在は樹齢300年の  
柿木や井戸が残っている。

山深く心清く  
巡礼古道

## 三池奥の院周辺

「この道は、お大師様も通る道なれば  
心も清く、身も浄く、懺悔、懺悔の行の道」

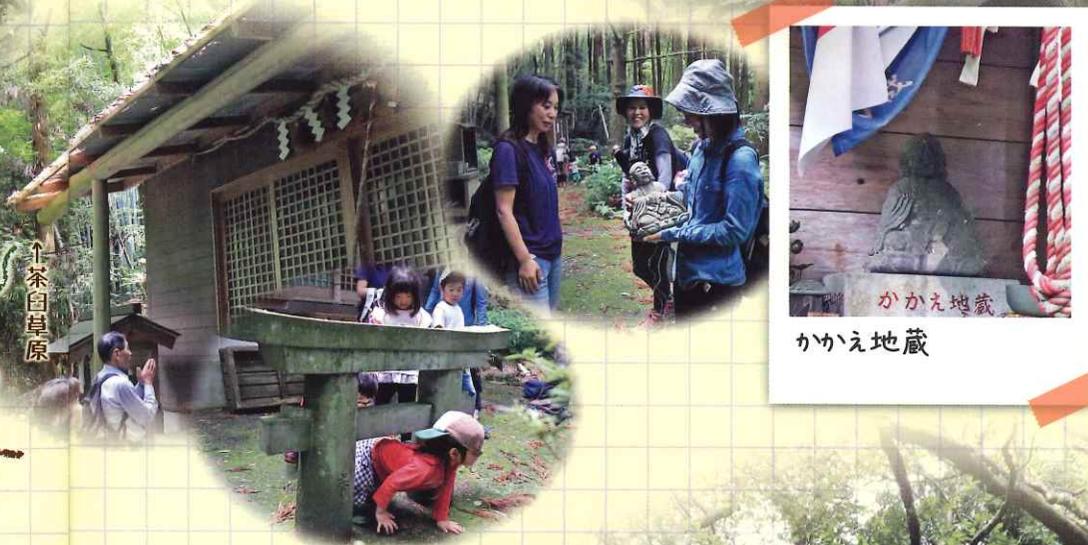
この言葉は、三池奥の院に通じる山道で、  
真言宗僧侶である奥の院院主から、  
心に浮かべて欲しい言葉として教わりました。  
信仰の山と称される三池山は、巡礼古道と  
呼びにふさわしい山道が点在します。  
三池奥の院に続く道もその一つです。



## 栗島堂

三池奥の院は、お大師信仰の霊場として、  
昭和初期に開山したそうです。ご本尊(ご祭神)  
として天照大神の御子である栗島大明神が祀られており、  
いにしえから伝わる神仏習合の霊場となっています。

境内には、**かかえ地蔵**をはじめ、多くの石地蔵様の他に  
**小さな鳥居**があり、このミニ鳥居を願いを込めてくぐれば、  
病氣平癒、安産、厄難退散、諸業繁栄などに  
霊験あらたかと言い伝えがあります。



かかえ地蔵

## 巨石群の森

三池奥の院から山頂に向かう  
登山道周辺には、不動明王を頭上に仰ぐ  
お滝場や祠を祀った巨石群が鎮座し、  
森羅万象に神が宿るような雰囲気をかもしだしており、  
信仰の山三池山を実感することができます。

三池山は、「日いずる山」とも称されていますが、  
古びた山道に足を止め、木立ちから漏れる光を浴びれば、  
神仏のぬくもりと共に巡礼古道の世界へと誘ってくれるかもしれません。

# 森のはたらき

身近な森林は、様々なことに役立っています。  
現在では気候変動、生物多様性の損失といった問題が大きく取り上げられ、ますます森林の機能が注目されています。

## 水を貯える 水質を浄化する

なぜ湧水や川の水は枯れないの？  
長く雨が降らなくても木が育つのはなぜ？

森が雨水を貯え、湧水として平準化し、また森の土壌の濾過で水質を浄化してくれています。



## 人間に必要な 酸素をつくる

植物は光合成を行い、人間などが吐き出した二酸化炭素を酸素にかえています。地球温暖化などの地球環境などを調整しています。

## 気温の調整

森林の蒸発散作用により夏の気温を下げ、冬の気温を上昇させるなど気候を調整します。また暴風や防音などの効果があり快適な環境にしてくれています。

## 人を癒す

緑、空気、水、森の中など自然空間は、心を癒し、パワースポットとしてエネルギーをもたらしてくれています。



## 食糧や木材などの 資源をつくる

木材や紙の原料、キノコや山菜などの食糧、マキや炭の燃料、肥料、葉草、工芸品の材料など貴重な資源の源になっています。

## 様々な 生き物の大切な 生息の場 になっている

森林は樹木や木などの植物や昆虫、鳥、動物、土壌微生物など様々な生き物の生息・生育の場となり、生態系を守っています。

二酸化炭素



これらの働きによって  
知らず、知らずに森の恩恵を受けています。  
この森の機能がなくなったらどうなるのでしょうか。

森は、動植物などの共存と多くの地域の方や様々な団体などの活動などによって守られています。  
しかし、活動者の減少などにより森の荒廃が進んでいます。

次の世代に、豊かな森を引き継いでいくことが大切です

# 整備活動

森や登山道などは地域の人々や環境ボランティアなどによって守られています。

自然の中では、雨風により登山道の土が流され倒木や草が茂るなどで、何もしなければ荒れて通れなくなります。誰かが、倒木の処理や階段を作ったり、草刈りするなどの整備により安全に通ることが出来ています。

誰がやっているのかな？

杉林も間伐や枝打ち、下草刈りなどの整備が必要です。



## 野焼きの機能

阿蘇の高原では冬に「野焼き」のニュースが流れるが、三池山の茶白草原でも、毎年12月に野焼きが行われています。野焼きを行うことで草原の森林化などを防いでいます。



## 主な年間整備活動(予定)

9月	鳴川山コスモス園整備 (歩こう会、三池山を守り楽しむネットワーク)	連絡先 藤木 090-6891-3545
9月	鳴川水源の森整備 (おおむた環境ネットワーク・日明地区水と緑の会)	
12月	茶白草原除草整備 (三池山を守り楽しむネットワーク)	連絡先 若松 090-6770-9095
12月	茶白草原野焼き (大牟田市)	連絡先 新谷 080-5273-4695
3月	活動団体一斉整備 (三池山を守り楽しむネットワーク)	連絡先 新谷 080-5273-4695
毎月2回	三池宮周辺整備 (今山区長会)	連絡先 吉田 090-2515-6390

整備に参加できる方が減少し、活動ができなくなり困っています。  
三池山を守る活動にご参加・ご支援していただける方は、  
上記の活動団体への連絡をお待ちしています。